



フグシンポジウム

教授 濱田 英嗣

ふく資料室開設から約1年経過し、フグシンポジウムを12月5日(土)15:30~17:30、B棟講義室221教室にて実施しました。シンポは、講演とパネル討論の二部構成とし、講演は「フグチェーン店の躍進とその戦略」と題して、東京一番フーズ執行役員の岩成和子氏に、フグチェーン店が躍進している要因を主として消費者サービスの観点から解説頂きました。

若干の休憩後に後段のパネル討論に入りました(テーマ:「激動のフグ流通・市場」)。パネリストは岩成和子氏、板谷國博氏(全国海水養魚協会フグ副会長)、山本尚俊氏(長崎大学)、佐藤隆氏(下関市立大学)、森邦恵氏(下関市立大学)の5名、司会は濱田英嗣(下関市立大学)が務めました。

パネル討論では、①フグチェーン店は今後も成長するか、②フグ大衆化の功罪、③フグ市場の大衆化から何を読み取るか、④健全な産業発展に向けて、フグ産業の今後の課題、について論議が交わされました。討論を通じて、市場外流通の隆盛と市場流通の衰退、しかし市場流通の衰退はフグ産業全体にマイナスの影響を及ぼすこと、フグで有名な下関としても、ブランド維持に向けて戦略の再構築を求められていることなどが明らかになりました。今後に積み残された課題としては、①今後フグ流通がどう変化していくか、その予測、②消費者の類型別のフグのニーズ把握、③フグチェーン店は市場機能をどの程度内部化することに成功しているのか、④下関フグブランド戦略のあり方などが指摘されます。こうした課題を検討し、次年度中の出版を目指しています。



下関市立大学と青島大学との 友好交流協定締結20周年記念式典

教授 熊谷 美佐子

下関市立大学と青島大学との間に友好交流協定が1989年に締結されて今年で20年になる。それを記念する式典が10月27日、青島大学から邵彬副校長他2名を迎えて本大学の体育館で行われた。

式典は下関市立大学吹奏楽部による両国の国歌演奏で始まり、本大学設置者の挨拶、両大学のこれまでの交流の紹介、両大学学長の挨拶(職務のため来校できなかった青島大学の夏臨華学長はビデオテープでの参加)が続き、最後に友好交流協定拡充のための実施覚書に調印が行われた。この機に一部改訂された協定書では短期交換留学生の枠を4名から5名へ、本大学院への協定推薦枠による留学生を1名から2名へ増加し、両大学の交流を一層深める内容になっている。

この20年間、交流協定に基づく交換留学生や教員の派遣は既に100名を越え、両大学による共同研究とともに教育・学術両面で充実した実績を築いてきた。その成果は夏学長がスピーチの中で語った友情の木の姿と重なる。それは枝葉が青々と茂る大樹で、20年前に交流協定を記念して青島大学のキャンパスに植えられた木である。

昨年からは青島市内で本学学生のためのインターンシッププログラムを実施している。これも青島大学の協力を得て順調に進み、両大学の協力関係は時代の流れに応えながら新しい展開を始めている。

式典の第二部は韓国やタイからの留学生が本学に来て以来練習を重ねてきた日本舞踊の成果を披露し、和やかな文化交流のうちに記念式典は終了した。近い将来、5年前に植樹された2本目の友情の木もきっと大きく枝を張るに違いない。



海外(北京)研修を終えて

経済学科3年 篠原 正嗣

2009年8月、私は大学の海外研修に参加し中国の北京に2週間滞在した。初めて海外に行くというもあり、さまざまな面において不安があったが、いざ行ってみると日本では見られない光景をたくさんみることができたり、多くの発見をすることができたりし、とてもためになる海外研修になったと思う。

今回の研修でまず感じたのは、中国の人は日本人と比べあまり人の目を気にしないということだ。バスや電車の中でも平気な顔をして大声で話をする。帰国後福岡の電車に乗ったとき、静かさに違和感さえ覚えるほど中国の電車は騒がしかった。ただ、人の目を気にしないことのいい点も垣間見えた。日本人の中には、電車やバスでお年寄りや体の不自由な方に席を譲りたいとは思っていても、恥ずかしさからなかなか言い出せない人がいる。しかし、中国の人は自然な感じで席を譲っていた。ひょっとしたら騒がしいシチュエーションからそのように見えたのかもしれないが、譲る人も周りの人もそれが当たり前のような感じであった。

次に、中国の人はおおざっぱな人が多い気がした。はじめにそれを感じたのはホテルにおいて、トイレのドアが閉まらなかったのだ。日本では経験したことのない設計ミスだったのでびっくりした。また、車の運転もおおざっぱだった。運賃が安いこともあり頻繁にタクシーに乗っていたのだが、どの運転手も運転が荒かった。急ブレーキや急な割り込みは当たり前のよう起こっていた。正直、ジェットコースターに乗っている感覚に近い感じだった。あの車社会で、滞在中に1度も事故現場に出くわさなかったのが不思議なくらいであった。

また、中国の人は自分の感情に素直であるような気がした。中国の人は、あまり愛想笑いはしない。従業員であっても客に対し笑顔はない。はじめはなんて無愛想な従業員だと思ったが、中国ではどこもあんな感じだときいてからはあまり気にならなくなった。むしろ、気を使う必要がない点では中国のほうが過ごしやすいかもかもしれないとさえ思ったりした。

2週間という短い滞在期間ではあったものの、少しは中国という国の良いところ悪いところを知ることができたような気がする。そして、苦手な部分もあったものの、また中国に行く機会があったら是非行ってみたいと思った。



北京市・故宮博物院前にて

海外研修(ソウル)に参加して

国際商学科2年 岡田 隆志

私は9月に2週間、韓国・ソウルでの短期研修に参加した。研修先の語学学校の授業は全て韓国語で行われた。最初は聞き

取りに苦労したが、次第に慣れてくると授業にも積極的に参加できるようになった。授業のない日は自分たちだけでソウルを観光したり、現地の韓国人の学生と遊びに行ったりした。その時に自分の韓国語が通じた喜びは、帰国後、韓国語を学ぶ際の励みになっている。

2週間という限られた期間だったが、語学面での上達を実感でき、異国の地で新しい友人を作ることもできた。海外という環境は自分を変えてくれると思うので、みなさんにも積極的に参加してほしい。



ソウル市・ソウルタワー前(南山公園)にて

初めての海外渡航、オーストラリア研修

国際商学科2年 鍵谷 翔子



ブリスベン市・ブリスベン川前にて

私にとっての初めての海外渡航が、このオーストラリア研修でした。

基本的に会話は全て英語、日本語は厳禁でした。その上、日本とは違う水不足問題や経済問題、文化の違いや言葉の壁は想像していた以上に大きく、英語力も経験も知識にも乏しい私が1カ月過ごせるのかかなり不安でした。しかし周りも私と同じ不安を抱えていて、皆で一緒に頑張ろうという気持ちが自ずと生じて、切磋琢磨することができました。

1カ月という長期間でしたが、毎日が楽しくてあっという間でした。平日は主に授業で、毎日の生活に活かせる英会話を学んで実践し、英語の表現・理解力を養えました。あと、週に1、2回乗馬や異文化交流などのアクティビティがあり、オーストラリアでしかできない体験をたくさんさせていただきました。授業やアクティビティで習得した英会話は日常生活で実践したことで、英語力はかなり身に付きました。休日は友達やホームステイファミリーと出かけたり過ごし方は人によって様々で、私はよくブリスベシティにショッピングに行ったり、1泊2日でゴールドコーストに出かけたりもしました。

ホームステイ先では、言語の壁や価値観の違いにより、最初は大変苦労しました。しかし、ファミリーは私を本当の子供の

ように大事にしてくれたし、私も本当の家族のように感じる事ができました。

今言えるのは、この研修で英語力の伸びを実感できたのはもちろんのこと、人間的にも成長できました。

現地では味わえない数々の感動は、やはり行ってみたいとわからないし、この経験は日本で体験した場合と異国の地で体験した場合とはかなり違います。

この研修は、これからの私に多大な影響を与え、私の視野や今後の人生の幅を広げてくれると確信しています。

何事にも興味を持ち続け、研究し、肌で感じる事がいかに大切かを学び、いつまでもそのような気持ちを持ち続けたいと強く思えた海外研修でした。

第5回下関市立大学コリアンスピーチ大会を終えて

国際商学科3年 松尾 美都里

12月16日に第5回となる下関市立大学コリアンスピーチ大会が行われました。私は今回、この大会の裏方とも呼べる下関市立大学コリアンスピーチ大会実行委員会の今年度実行委員長を務めさせていただくことになりました。

初めは実行委員の21名の日本人学生と6名の留学生の計27名をまとめるだけでも精一杯でした。しかし、会合やレクレーションなどを通して、大会が近づくにつれて実行委員同士がコミュニケーションをとることができるようになっていきました。

第5回下関市立大学コリアンスピーチ大会は、大会出場者数が38名、来場者数が90名となり、多くの方々にご参加していただくことができました。また、10歳の小学生から60代の方までが出場する幅広い年齢層の大会となり、参加者のレベルも審査員の先生方が審査時間ぎりぎりまで悩むほど例年以上にレベルの高い大会へととなりました。

このような大きな大会を運営していくことに不安もありましたが、そんな私を実行委員の仲間が常に支えてくれました。また、今大会を運営するにあたりたくさんの団体や企業に後援、協賛という形で協力していただきました。

私は今回、大会を支えていただいた全ての方々に、協力しあうことの大切さを教えていただきました。このような機会を与えていただいたことに、心から感謝したいです。ありがとうございました。



中国語スピーチコンテスト

国際商学科4年 中畠 将太

私は今、第1回下関市立大学中国語スピーチコンテストを無事に終えることができたことを大変うれしく思っている。初めて開催するため、マニュアルもなく試行錯誤の連続であった。しかし、実行委員一同が協力し合い、次につながる素晴らしい

成果を残すことができた。

スピーチコンテストを開催するにあたり、後援依頼と発表者の募集には特に力を入れた。後援依頼は、電話だけでなく直接企業に何度も足を運び、合計6団体から後援を頂くことができた。発表者募集も下関市立大学の学生だけでなく、県内外の中国語学習者に参加を呼びかけ、総勢17名の発表者を募ることができた。スピーチコンテスト当日、発表者は初心者から上級者まで各自の学習成果を発揮し鑑賞者を感動させた。更に、審査中も日本人学生による中国楽器・二胡の演奏や中国人留学生が日本語で滞日体験発表を行い、鑑賞者が中国文化に触れる時間を提供した。

このスピーチコンテストを通して、「0」から「1」を生むことの大変さと、「何事も人の支えによって成り立っている」ということを改めて実感した。スピーチコンテストが無事に終わった今、私は携わった全ての人々に感謝の気持ちでいっぱいである。

この中国語スピーチコンテストが後輩に受け継がれ、下関市立大学の一大イベントになることを願っている。



大学主催インターンシップで就業体験学習

准教授 松本 義之 (キャリア委員会副委員長)

12月10日(木)16時30分から233教室において、学生・教職員・受入事業体関係者など約80名が参加して、インターンシップ報告会が開催された。報告会は、全体発表会と討論会の二部構成で行われた。

全体発表会では、インターンシップに参加した学生11名がPowerPoint等による報告を行った。インターンシップに参加した事が自分自身の成長に繋がった、将来を真剣に考えるきっかけになったなど、この実習が有意義なものであったとの報告が多く聞かれた。また、参加していただいた受入事業体関係者からも、学生から新しい刺激をもらった、今後も学生を受け入れていきたいなど、前向きなコメントが寄せられた。

引き続き、報告書作成を指導した教員を中心に、6教室に分かれて討論会が行われた。学生の体験に基づいたインターンシップのあり方や、今後の改善の方向性などについて、活発な討論が行われた。



国内研修中(九州大学)の断想

教授 川本 忠雄



国内研修のテーマの一つは、「東アジア統合と地域の連関」であった。「東アジア共同体」は本当に成立するののかという問題意識がそのテーマの根底にある。ちなみに研修先の九州大学は戦前から東アジア研究に優れている。

1903年、岡倉天心はロンドンで「アジアは一つである」と格調高く英文で論述した。この一言が100年間、我々日本人を魅了し呪縛にかけ、「アジアは一つになるべきである」と。他方で各国の歴史的個性の強さから「アジアはバラバラである」とする論者も多い。

現在、東アジアにおいて経済レベル（貿易・資本移動・労働移動・技術移転など）では、ASEAN（東南アジア諸国連合）を軸に連携のネットワークが創られつつある。しかし「共同体」という場合、経済統合だけでなく最終的には社会統合、価値の統合が問われてくる。その場合、共通価値の存在を認める代表的な要素として必ず登場するのが「儒教」である。例えば、東アジアを共通の「儒教文化圏」とする考え方である。しかしこの様な理解の仕方は正しいのだろうか。

本来の儒教思想は「礼」を核とする。ここでの礼は、日本の礼節・感謝・おじぎ等ではなく、日常全般を覆う厳格なる行動規範・祭礼などである。また儒教（特に孟子）には性善説がある。本来の性善説では「全ての人間の本性は善である」ので、実質的に王と王でない者の区別はない。誰もが王になれる。このことは善性を失った王を取り除き、善性を有した新しき王が革命を遂行できる根拠と成り得る。性善説は過激な革命思想ともなるのである。これに対して日本人の理解は「皆、元々良い人なので仲良くしよう」という意識レベルである。

結局、アジアにおいてはEUの様な連邦国家を目指す「共同体」はかなりの長期間、展望できない。我々のできることはせいぜい現在進行している連携のレベル（経済的次元か価値次元か）をよく認識し、ともすれば誤解から断絶へと至る道を警戒するしかない。地域交流という石積みを営々と行う努力しかない。2009年秋、新政権の下で能天気な「アジア共同体」が提唱された。嗚呼。

（小倉紀蔵『日中韓はひとつになれない』角川書店、および古田博司教授（筑波大）の見解参考）

2009年度春学期国内研修記

准教授 平山 也寸志



広島大学大学院社会科学研究所における国内研修では、ライフワークのひとつとなるであろう、代理権濫用論を中心とした、代理の研究を行った。

研究分野においては、最新の文献をフォローしていくことは勿論、重要であるが、研修期間中は、むしろ、ドイツ民法典(BGB)の19世紀後半以降の編纂資料、更には、ローマ法に関する古い資料の検討を法学部の先生方の指導を頂きながら行った。広島大学には概ね、当時の資料が揃っており、また、法学部資料室、中央図書館等の職員の方々も親切で十分な資料収集

ができた。研修前の日常における、限られた時間での独学では、このような古い資料の探索、収集、消化は、不可能であった。このような古い資料の検討に着手できたのは、広島大学で研修をする機会を頂けたからであると感謝している。更に、ドイツのハイデルベルクから見えられた弁護士の方にドイツの代理法等について親しく教えて頂く機会もあった。

研修前と研修後とでテーマに対する検討の角度に変化が見られ、予想しえない様々な収穫があり、非常に有意義な研修であった。

キャンパスのある西条は、灘、伏見と並ぶ酒造業の盛んな街である。西条の街には大規模な酒蔵が立ち並んでいる。キャンパスから眺められる山々が連なる風景が、小さな造り酒屋と道を隔てて斜向いに生家がある故郷を思い起こさせた。研修はつい数ヶ月前のことではあるが、故郷の風景と重なり、キャンパスからの風景が非常に懐かしく思い出される。

第3回学術講演会に参加して

経済学科4年 肥中 薫梨



昨年の11月9日(月)に下関市立大学学生会主催で2009年度第3回学術講演会が開催された。中尾友昭下関市長を講師に迎え、「下関の街づくりについて」と題し行われたこの講演会には、学生をはじめ一般市民の参加も多数あり、今後の街づくりについての関心の高さがうかがえた。

下関市は今年で合併6年目を迎え、複数の市町村が連携して地域活性化を図る「定住自立圏構想」の先行実施団体にも指定されている。そのため今回の講演会では、「下関市定住自立圏構想」の取り組みについての説明がなされ、参加者たちはこれからの下関市の方向性を決めるであろうこの構想について理解を深めようと熱心に中尾市長の講演に耳を傾けていた。

厳しい財政状況のもとで、“地方分権”という意識は着実に各地方自治体に浸透している。そして、地方自治のあり方が大きく変化しようとしている今日において、住民が地域に関心を持つことは地域が発展していくために必須の条件となっている。そのため、行政と大学、市民が一体となって「下関の街づくり」について考える機会が与えられたことは、今後下関市が発展していく上で、大きな意味を持つのではないだろうか。この講演会をきっかけに行政と大学、市民とが連携して、地域活性化のために今以上に努力し、地元下関がすべての人にとって住みよい街になることを願う。



平成21年度春学期卒業式



9月30日(水)、学術センター3階において、平成21年度春学期卒業式が行われました。

教職員や保護者が見守るなか、学長から卒業証書が一人ひとり手渡され、経済学科

12名、国際商学科13名の計25名が、卒業しました。

私の研究

教授 高田 実

国の制度としての年金や保険はおよそ1世紀前に登場しました。それらの制度は、なぜ、どのようにして成立し、その後どんな変化をたどったのか。そして、人びとが自分の金や資産を他人の福祉のために使うことを認め、互いを支えあうような「連帯」の思想はどこから生まれてきたのか。このような広い意味での福祉の歴史を、イギリスの近現代を対象として研究しています。

キーワードはふたつ、<「福祉の複合体」史>と<個と共同性の関係史>です。福祉というとすぐに国家の福祉だけを考えがちですが、福祉の実態を支える担い手と原理は多元的で、国家以外にも、地方自治体、慈善組織、地域社会、相互扶助団体、宗教団体、企業など、さまざまな団体が活動することで福祉の総体を作り上げていました。福祉は「構造的複合体」で、それがアメーバのように変形しながら動くことで、福祉の歴史が作られてきたのです。その動きのなかで、100年前には国家が福祉の主体として登場します。それまで「他者」として迂遠な世界にいたはずの国家が、労働者の生活の守り手として登場したのはなぜか。イギリスの経済的衰退や労働者の選挙権拡大の変化と合わせて、それまで福祉を支えてきた「社会」に変化が生じたからです。従来「安定的」と思われていた社会が機能不全を起こすことで、福祉の複合体にもさまざまなほころびが生じました。そのほころびを繕うだけでなく、新たな布袋に中身を詰め替える作業を行ったのが、この時期なのです。その際、国家もまた社会の延長線上にあるものと把握されるようになりました。そこには、「社会的なるもの」や共同性をめぐる考え方の変化があったようです。その変化の意味を、近代社会における「自立した個人」という観念を再検討するなかで追究しています。

このような過去と対話することで、市場主義のなかで競争と「個人化」が進み、福祉社会を支える連帯の思想そのものが危うくなりつつある現代の歴史的な位置を考える視座をえたいと思っています。



現代GPプレゼンテーションコンペにて：高田教授・写真右

秋季大会結果

準硬式野球部

秋季リーグ戦1部・優勝、最優秀選手賞（樋爪達彦）、最優秀投手賞（大塚俊輔）、ベストナイン（樋爪達彦、井上雄翔、松成若虎、井本正太郎）

第27回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会中国地区選抜チーム代表選出（吉原祥平、横手政之、佐々木勝也、樋爪達彦、井上雄翔、松成若虎、井本正太郎）

軟式野球部

西日本地区学生軟式野球連盟秋季I部リーグ戦・4位

硬式庭球部

全日本大学対抗テニス王座決定試合・男子団体四部昇格
北九州下関インカレ団体戦・優勝

ソフトテニス部

山口県学生対抗大会女子団体戦・準優勝、女子個人戦・3位
（谷元・金子ペア）

サッカー部

中国2部リーグ5位

ラグビー部

下関セブンス3位

男子バスケットボール部

山口県リーグ二部2位

女子バスケットボール部

中国大会2部・4位

男子バレーボール部

第70回中国大学バレーボールリーグ戦3部リーグ・優勝
（2部リーグ昇格）

山口県大学高専学生バレーボール戦・準優勝

女子バレーボール部

チャレンジリーグ（中国リーグ）1勝

フットサル部

プーマカップ下関市予選・優勝（県大会1勝2敗1分）

バドミントン部

北九州下関地区大会男子団体・優勝、男子ダブルス・準優勝
山口県学生大会男子シングル・優勝、男子ダブルス・準優勝
山口県秋季学生バドミントン大会男子シングルス・優勝（徳永利彦）

下関・北九州男子団体・3位、女子団体・3位、男子シングルス・3位（枝廣和成）、女子シングルス・3位（伊藤朱里）、男子ダブルス・優勝（末廣光・濱昂典）

中四国・九州学生バドミントン大会男子団体B級・ベスト8、男子ダブルスB級・ベスト8（藤浦圭太・徳永利彦）、女子シングルスB級・ベスト8（口羽歩）

陸上部

錦川清流駅伝・7位

少林寺拳法部

少林寺拳法全国大会in青森・出場（一般男子二段の部（藤瀬天魚 松岡賢弘）、一般男子初段の部（大西智久 桑田俊介））
山口県体育大会一般男子初段の部・優秀賞（岩下雄一郎、松本匡史）、一般男子級拳士の部・優秀賞（磯田治伸、下野太一）、優良賞（神野航希、豊島駿也）

第七回中国地区学生大会男子二段の部・優良賞（藤瀬天魚、中西将文）、男子初段の部・優良賞（石岡一樹、當田英貴）、男子段外の部・優良賞（磯田治伸、永川農）、単独演武有段の部・優良賞（杉林彰人）、団体演武有段の部・優良賞

卓球部

第76回全日本学生選手権大会・出場

第41回中国新人学生卓球選手権大会女子シングルス・優勝
（道下知香）

紫電流空手部

第14回北撰空手道選手権大会・準優勝（村上竜太）・ベスト4
（氏家啓伍）

第48回下関市立大学大学祭

48代大学祭実行委員会委員長 下野 雄介 (経済学科3年)



2009年10月、第48回下関市立大学大学祭「馬関祭」を無事に終えることができました。今年のテーマは「Raise a Revolution ~ 22世紀を今、見据えよう~」でした。

様々な環境問題がマスメディアを通して叫ばれている中、私ども大学祭実行委員会は、地元下関から環境について考える場を共有していただきたく、このテーマを設定しました。このテーマの下でエコ食器の導入、エコバッグの無料配布などの催しを行いました。来場していただいた皆様に少しでも楽しんで、また環境について少しでも興味を持っていただけたら私どもも満足です。反省すべき点は多々ありましたが、地域の方々、先生方を始め、大学の方々のおかげで第48回馬関祭は大成功を収めることが出来ました。

私自身も貴重な体験をすることができたので大きく成長できた気がします。皆さんありがとうございました。

大学祭を終えて

経済学科3年 山下 由貴

振り返ると第48回馬関祭は私の大学生活の中で最も印象深い出来事だったと思います。

私は大学1年から3年間、大学祭実行委員会の講演部に所属していました。大学祭実行委員会は3年生が主体となり、大学祭の日程から企画、運営まで大学祭に関わるすべてを行うサークルで、私の所属していた講演部はお笑いライブを成功させることが大きな目標でした。1・2年のころは先輩たちのサポート役のような存在でしたが、3年になると講演部副部長となり大きな責任感と同時に分からないことだらけで不安も大きかったです。

まず何からはじめたらいいのか、先輩や同級生に教えてもらうことから始まりました。当日を迎えるまでは、なかなか出演者が決まらない、協賛金が集まらない、当日のスケジュールが決まらない、といった時期もあり苦労や不安な日々もありました。当日は今まで準備してきたことを無駄にしないためにも絶対に成功させるという思いで、大学生活の中で1番一生懸命になれた日となりました。

結果、お笑いライブは「我が家」を招き、集客数800人を超え、私たちの予想を上回り、反省すべき点はありますが大きな問題もなく無事に終えることができました。そしてなにより、地域の方々、先生方、学生支援班の方々、先輩方、後輩、同級生などみんなの力を借りて大学祭を作っていることを実感でき、大きな達成感を味わうことができました。



学生団体新役員紹介

学友会執行部

会長 宮本 純也 (経済学科3年)
副会長 寺西 洋量 (国際商学科3年)
会計 岡島 勇介 (国際商学科3年)



体育会

会長 中西 将文 (経済学科3年)
副会長 矢野 俊之 (経済学科3年)
書記長 井上 雄翔 (国際商学科3年)



文化会

会長 宰川 真一 (経済学科3年)
副会長 手塚 祐輔 (経済学科2年)
書記 田中 李奈 (国際商学科1年)



大学祭実行委員会

委員長 瀬口 和彦 (経済学科2年)
副委員長 福村 知彦 (経済学科2年)



推薦入学・特別選抜・編入学試験を実施

2009年11月21日(土)、本学において2010年度推薦入学・帰国子女・社会人特別選抜、編入学試験を実施した。募集人員、志願者並びに合格者等の実数や倍率などは、下表に示すとおりである。

入試実施結果

学科	入試	定員	志願者	受験者	合格者	倍率		
経済学科	推薦入試	全国	31	84(79)	84(79)	32(32)	2.6(2.5)	
		地域	A	33	9(6)	9(6)	9(6)	1.0(1.0)
			B		48(39)	48(39)	25(27)	1.9(1.4)
	帰国子女	2	1(0)	1(0)	1(0)	1.0(0)		
	社会人	3	-	-	-	-		
	編入学	10	36(35)	31(30)	13(9)	2.4(3.3)		
国際商学科	推薦入試	全国	31	72(88)	72(88)	31(31)	2.3(2.8)	
		地域	A	33	6(9)	6(9)	6(9)	1.0(1.0)
			B		34(39)	34(39)	25(24)	1.4(1.6)
	帰国子女	2	0(1)	0(1)	0(1)	0(1.0)		
	社会人	3	-	-	-	-		
	編入学	10	21(37)	17(33)	8(13)	2.1(2.5)		

注:()内数字は2009年度入試実績数。

平成21年度就職状況 (就職内定企業一覧 平成22年1月25日現在)

<p>■金融</p> <p>(株)伊予銀行 (株)愛媛銀行 (株)大分銀行 (株)香川銀行 (株)鹿児島銀行 (株)高知銀行 (株)西京銀行 (株)佐賀共栄銀行 (株)佐賀銀行 (株)滋賀銀行 (株)鳥根銀行 (株)十八銀行 (株)親和銀行 (株)住友信託銀行(株) (株)大正銀行 (株)中国銀行 (株)鳥取銀行 (株)トマト銀行 (株)西日本シティ銀行 日本政策金融公庫 (株)肥後銀行 (株)百十四銀行 (株)広島銀行 (株)びわこ銀行 (株)福岡銀行 (株)豊和銀行 (株)北陸銀行 みずほフィナンシャルグループ (株)南日本銀行 (株)もみじ銀行 (株)山口銀行 (株)りそな銀行 郵便局(株) 岡三証券(株) 香川証券(株) 東海東京証券(株) 東洋証券(株) 野村証券(株) 日の出証券(株) みずほ証券(株) 朝日生命保険相互会社 (株)かんぽ生命保険 損保ジャパンひまわり生命保険(株) 第一生命保険相互会社 東京海上日動火災保険(株) 日本興亜損害保険(株) 日本生命保険相互会社 三井生命保険(株) 明治安田生命保険相互会社 (株)アイ・アンド・イー (株)ウィッシュ (株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング 広島県信用保証協会 大分みらい信用金庫 岐阜信用金庫 倉吉信用金庫 呉信用金庫 しまなみ信用金庫 高松信用金庫 但陽信用金庫 玉島信用金庫 中兵庫信用金庫 西中国信用金庫 東山口信用金庫 備前信用金庫 広島信用金庫 福岡ひびき信用金庫 中国労働金庫 愛知豊田農業協同組合 香川県農業協同組合 笠岡信用組合 粕屋農業協同組合 下関農業協同組合 JAバンク兵庫信用農業協同組合連合会</p>	<p>周南農業協同組合 全国共済農業協同組合連合会 鳥取県本部 ながさき西海農業協同組合 松本ハイランド農業協同組合 山口県漁業協同組合 (株)クレディセブン 三菱UFJニコス(株) (株)武富士 ACEインターナショナル(株) 太陽建機レンタル(株) (株)ひまわり</p> <p>■商社・小売</p> <p>旭食品(株) 尾家産業(株) 大西商事(株) 加藤産業(株) (株)カナックス (株)カワニシホールディングス 寒川商事(株) 北九州青果(株) 興陽電機(株) 熊本大同青果(株) 国分グループサンリック国分(株) 高田商事(株) (株)シモセン (株)JAPAN CREATE 住友商事(株) センコー(株) (株)外林 瀧定大阪(株) (株)トーホー (株)成和産業 西原商会(株) まるほ商事(株) 三井物産鋼材販売西日本(株) 南商事(株) 山口産業(株) (株)山産 ワタキューセイモア(株) (株)高島屋 (株)阪急阪神百貨店 (株)イズミ (株)Aコープ エフコープ生活協同組合 大黒天物産(株) 嘉徳無線(株) サンリブ・マルショクグループ 生活協同組合コープ鹿児島 (株)天満屋ストア (株)トライアルカンパニー (株)西鉄ストア (株)ハローズ (株)ハローデイ (株)ポプラ (株)丸久 (株)マルナカ (株)万惣 (株)ミスターマックス (株)岩崎宏健堂 (株)ウチムラ (株)エービーシー・マート (株)オーリーブ デ オリーブ カイタク(株) (株)キタムラ (株)コスモス薬品 (株)サマンサタバサジャパンリミテッド (株)サンキュードラッグ (株)サンドラッグ (株)しまむら (株)ジャパンイマジンেশョン (株)ジュエルセブン 城山薬品(株) 新日本製薬(株) (株)スズキ自販鳥取 (株)スタジオアーク (株)タカミヤ</p>	<p>(株)ダスキン山口 (株)タナカふとんサービス トヨタカラー岡山(株) (株)トヨタカラー山口 (株)ドン・キホーテ (株)ナフコ (株)西松屋チェーン ネットヨタ北九州(株) ネットヨタ山口(株) パナソニックコンシューママーケティング(株) (株)ビッグモーター (株)福岡 福岡トヨペット(株) (株)フジカワ電機 フックオフコーポレーション(株) (株)ブルームイト (株)ペイクルーズ (株)三鷹 (株)メーカーズ (株)メガネット メガネの田中チェーン(株) (株)メデイエーター(株) (株)ヤノメガネ 数内薬品(株) (株)ヤマサキ (株)ユニクロ (株)ラブドラッグ (株)リカースペース太陽 (株)レッドバロン</p> <p>■運輸</p> <p>九州旅客鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株) 郵便事業(株) (株)ANAエアサービス東京 (株)ANAグランドサービス ANAテレマート(株) (株)JALエクスプレス (株)JALナビア福岡 郵船航空サービス(株) 下関海陸運送(株) リベラホールディングス(株) 関光汽船(株) 西部タンカー(株) (株)ハヤタニ重機 アートコーポレーション(株) (株)サカイ引越センター サンデン交通(株) ヤマト運輸(株) 九州産交(株) 日本交通(株) 福山通運(株) (株)キューソー流通システム 鴻池運輸(株) (株)住友倉庫 上組(株)</p> <p>■製造</p> <p>明石被服工業(株) 旭化成(株) アマノ(株) アルフレッサファーマ(株) 宇部フィルム(株) (株)エフピコ 大石産業(株) 大分県たばこ耕作組合 (株)大塚製薬工場 オンワード樫山 (株)キューヘン 位登産業(株) (株)再春館製薬所 (株)資生堂 (株)大一 ダイコー通産(株) 大正富山医薬品(株) 大日本住友製薬(株) タカラスタンダード(株) (株)長府製作所</p>	<p>津田産業(株) (株)テレコム (株)戸上電機製作所 中村被服(株) 西川ゴム工業(株) 日新リフレテック(株) 日本食研(株) 日本新薬(株) 日本たばこ産業(株) 林業産業(株) (株)ヒライ (株)藤商店 (株)プリントバック ポエック(株) (株)ほんば 正晃(株) 丸住製紙(株) 丸紅エネルギー(株) (株)山田養蜂場 理研産業(株) 六甲バター(株)</p> <p>■建設・不動産</p> <p>中電プラント(株) (株)九電工 太平工業(株) (株)川崎技研 朝日鉄工(株) (株)創栄 三菱地所藤和コミュニティ(株) (株)えん (株)アンサー倶楽部 (株)レオパレス21 (株)カシワバラ・コーポレーション セキスイハイム九州(株) 東宝ホーム(株)</p> <p>■情報</p> <p>(株)インフォテック朝日 (株)NTTデータ九州 (株)共栄システムズ (株)クイックサーブ (株)ケーブルメディアワイワイ 国土情報開発(株) (株)さんばん JR九州システムソリューションズ(株) JFEシステムズ(株) (株)ジャパンコンピュータサービス スターティア(株) セントラルソフト(株) T I S(株) 東京三菱インフォメーションテクノロジー(株) 西日本電信電話(株) 日商エレクトロニクス(株) (株)ネクシーズ パナソニック情報システム(株) (株)ピーアンドエム (株)BCC (株)光通信 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ みずほ情報総研(株) (株)山口情報処理サービスセンター リコーテクノシステムズ(株) (株)ルーツ</p> <p>■サービス</p> <p>(株)ANAセールス九州 (株)一の倶温泉観光ホテル 勤休暇村協会 JTBトラベランド (株)軒スコレ・コーポレーション (株)フジトラベルサービス (株)ミキツーリスト (株)読売旅行 池永経営会計事務所 沖田法律事務所 北九州商工会議所 (株)九検 (株)セノン</p>	<p>(株)電通 日本郵政(株) (株)リクルート (株)王将フードサービス (株)カッパ・クリエイト (株)がんこフードサービス (株)きちり (株)ジー・エイ・エフ・マネジメントとんかつ新館さぼん (株)ジョイフル (株)ゼンショー (株)大庄 大和リゾート(株) (株)チムニー トウショク(株) (株)ニッシンコーポレーション (株)物語コーポレーション (株)モンテローザ ワタミフードサービス(株) 佐賀県医師会 医療法人並木会 並木病院 日本赤十字社佐賀県支部 宮崎医療生活協同組合 アースサポート(株) ウェルビー(株) (株)メディカル・コンシェルジュ イッテイージャパン(株) (株)英進館 (株)鷗州コーポレーション (株)京進 (株)コース・コーポレーション (株)向学社 (株)こもり進学塾 (株)昂 (株)全教研 (株)総合資格 (株)寺子屋グループ (株)マウンテン・ルーツ 三浦運輸(株)「明光義塾」 三幸グループ ユーアイ・ベルモニー(株) (株)ラック (株)イクティス (株)カクタ (株)グランド商事 タイラグループ CHEERエンタープライズ (株)成通・ソフトシステムズ (株)パーソナルプランニング (株)伯和 (HAKUWA GROUP) HIGUCHI GROUP (株)フェイスグループ (株)マルハン (株)ユーコー</p> <p>■公務</p> <p>名古屋国税局 防衛省職員行政(航空) 松江地方務局 兵庫県中教員 北九州市役所 小松島市役所 下関市役所 多久市役所 吉野川市役所 海上自衛隊 航空自衛隊 陸上自衛隊 警視庁 岡山県警察本部 (株)鹿児島警察本部 京都府警察本部 鳥取県警察本部 兵庫県警察本部 広島県警察本部 山口県警察本部</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

点検評価シンポジウム

1月21日(木)、学術センター3階にて、客観性と妥当性を確保するために学生や学外者を交えた、本学点検評価委員会主催の「点検評価シンポジウム」が二部構成で開催されました。

第一部では、まず、大学基準協会に所属する生和秀敏氏(広島大学名誉教授)の「大学評価制度の新展開-内部質保証システムの構築-」と題した基調講演が行われ、大学評価制度が導入された当初の目的やこれまでの経緯を踏まえながら、大学自身による自己点検・評価の充実が今後の課題だとされました。そのためには、型通りのカリキュラムではなく、学生にも主体性を持たせた授業など、学習成果や教育成果を分析した教育プログラムを組み立てなければならず、今後の大学評価は、こうした教育プログラム評価とそれを導入する教員の個人評価が中心になるだろうと解説されました。

続いて、本学点検評価委員3人から自己点検評価について報告がありました。報告は、2010年度に認証評価の更新のため大学基準協会へ提出する点検・評価報告書の内容や、作成過程における問題点などでした。本学の理念や目的を念頭にPDCAサイクルを利用し、中期目標・中期計画、年度計画・実績評価を達成している現状、小規模大学ゆえに教職員が自主性を持って作業をし、補完性と継続性を維持するダブルキャスト制の必要性、そして、本学の広報体制が十分でないという短所も示されました。

第二部では、木野茂氏(立命館大学共通教育推進機構教授)による「学生とともに作る授業、学生とともに進めるFD」についての講演が行われました。FDといえば、通常、教職員が中心になりますが、木野氏がこれまで行ってきた「双方向型授業」を通じ、学生も自ら主体として教育改善に参加する事例が紹介されました。双方向型授業では、様々なコミュニケーションツールを用いながら、学生自身が積極的に意見交換を行う姿勢が重視され、ディベートやグループ研究、討論劇など、過去の試みの中で効果のあった授業内容とともに、学生の成績向上に繋がる成果が示されました。この双方向性をさらに発展させ、他大学とも交流しながら、学生自ら大学の教育能力の向上と開発に参加する例も紹介されました。

各講演の後、参加していた教員や学生、一般の方からの積極的な質問に各講師が詳しく解説するなど、意見交換が活発に行われました。



左：生和秀敏氏 右：木野茂氏

みんなのために…を考える。

平成23年度「公共マネジメント学科」新設予定!

下関市立大学後援会援助規程による表彰

(平成21年3月・平成21年9月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

- ◇平成20年度春季北九州・下関地区学生テニス選手権大会
男子ダブルス 第1位 折山政雄、入江隼斗
- ◇平成20年度春季北九州・下関地区学生テニス選手権大会
女子ダブルス 第2位 中野響子、萩野美羽
- ◇第55回北九州・下関地区大学体育大会
硬式庭球部 女子シングルス 第1位 岩村奈央
硬式庭球部 女子ダブルス 第1位 岩村奈央、萩野美羽
空手道部 男子型の部 第1位 石津諒太
- ◇第44回少林寺拳法中四国大会
単独演武 男子段外の部 最優秀賞 桑田俊介
- ◇第56回北九州・下関地区大学体育大会
陸上競技男子800m 第1位 水野陽介
陸上部4×400mリレー 第2位
- ◇第28回中国四国学生柔道体重別選手権大会
男子73kg級 第2位 溝渕拓也

【各種資格取得報奨】

■国際商学科

- 岡田 知紘 実用英語技能検定試験 準1級
- 久保 智 実用英語技能検定試験 準1級
- 石川 聖二 TOEIC 750点以上
- 山田 愛美 TOEIC 750点以上
- 大澤 知子 TOEIC 750点以上
- 金光 勇樹 TOEIC 750点以上
- 中小原里奈 中国語検定試験 2級
- 中畷 将太 中国語検定試験 2級
- 王 若洋 HSK(漢語水平考試) 9級
- 佐藤竜太郎 基本情報技術者試験(秋期) 合格

■経済学科

- 濱田 大輝 実用英語技能検定試験 準1級
- 石井 達也 実用英語技能検定試験 準1級

行事記録(2009年10月～2010年2月)

- 10月10日(土) 合同就職面接会
- 10月24日(土) 大学祭(～10/25日)
- 10月27日(火) 下関市立大学・青島大学
友好交流協定締結20周年記念式典
- 11月9日(月) 第3回学術講演会(講師・中尾友昭下関市長)
- 11月21日(土) 推薦入学・特別選抜・編入学試験
- 11月29日(日) 中国語スピーチコンテスト
- 12月5日(土) ふく資料室フグシンポジウム
- 12月10日(木) インターンシップ報告会
- 12月16日(水) コリアンスピーチ大会
- 1月16日(土) センター試験(～1/17)
- 1月21日(木) 点検評価シンポジウム
- 1月23日(土) 留学生入学試験
- 2月2日(火) 坂本紘二学長最終講義
- 2月3日(水) 唐戸サテライトキャンパスオープン
- 2月13日(土) 鯨資料室シンポジウム
- 2月21日(日) 現代GPシンポジウム
- 2月25日(木) 一般選抜試験(前期)